

東京都立羽村高等学校 令和4年度 年間授業計画

教 科 : 芸術 科 目 : 書道Ⅱ 単位数 : 2 単位
対象学年組 : 第 2 学年 1 組～6 組
教科担当者 : (1 組～6 組 : 井ノ上)
使用教科書 : 書Ⅱ (光村図書)
使用教材 : 書道用具一式、墨、紙、応用ペン習字

	指導内容	書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	基本点画確認 篆書（臨書）	1年で学習した基本点画の書き方の再確認と表現する実技力を向上させる。 甲骨文字から金文までを時代の流れとともに書き方を理解できるよう指導する。	基本点画を正しく書くことができるか 適切な書き方で書けているか	6
5月	篆書（臨書） 隸書（臨書）	大篆から小篆までを時代の流れとともに書き方を理解できるよう指導する。 様々な隸書のかき分けができるよう指導する。	適切な書き方で書けているか 隸書の筆法が理解できているか	6
6月	行書（臨書） 行書（創作）	1年次とは違った行書の書き方を理解できるよう指導する。 臨書から学んだ筆法を生かして創作ができるよう指導する。	いろいろな書き方で表現できているか 自らがよく考え創作できているか	8
7月	中国書道の歴史 篆書・隸書・行書の復習	4月から学習した古典を踏まえながら歴史を理解する。 これまでに習った古典を適切な表現で書けるよう指導する。	中国書道の歴史を理解できているか 適切な表現で書くことができているか	4
9月	草書（臨書） 草書（創作）	草書の書き方を学びながら、読めるようになるよう指導する。 前時間で学んだ草書を踏まえて、草書で創作するよう指導する。	草書が書けているか、簡単な草書が読めているか 正しい形で草書を書けているか	6
10月	楷書（臨書） 楷書（創作）	昨年度未学習の楷書に取り組む。 学習した楷書をもとに創作できるよう指導する。	適切な書き方で書けているか 北魏時代の楷書が理解できているか、特徴を捉えられているか	8
11月	篆刻（理論） 篆刻（実践）	道具の扱い、篆刻の歴史、彫り方の説明など、実践する前に正しい彫り方で進められるよう指導する。 実用印を作成する。道具の扱いには十分に注意するよう指導する。	歴史、道具の扱い、彫り方を理解できているか 正しい彫り方、正しい印稿ができているか	8
12月	実用書（封筒の書き方） 実用書（年賀状）	封筒の書き方、履歴書の書き方などペン字の指導をする。 来年の干支を筆で創作する、はがきのあて名書き等、年賀状の書式の指導をする。	正しい書き方で書けているか 正しい書き方で書けているか	4
1月	書き初め 仮名（臨書） 仮名（創作）	新年の抱負を書くよう指導する。日本の伝統文化であることも確実に理解できるよう指導する。 仮名の基本を再度学んだ上で構成や表現の美を指導する。 三色紙を学び、それお踏まえて作品創作に取り組む。	書き初めの意味を理解できているか 正しい形で書けているか 三色紙の特徴を理解できているか。	6
2月	漢字仮名交じりの書 漢字仮名交じりの書（創作）	作家の作品を鑑賞し、表現の方法を考えられるように指導する。 前時間で学んだ内容をふまえて、古典や古筆からの創作に取り組む。	作家作品の制作意図をつかめたか。 自ら考えて創作することができているか	8
3月	実用書（小筆） まとめ	実用文章を小筆や筆ペンを使い指導する。 これまで学んできたものをふまえて、創作作品に取り組む。	筆記具により、適切な書きわけができているか 選んだ古典の字形を正しくとらえられているか。	6
				70